

ECHONET Liteにおける規格化状況

2013年6月21日

エコーネットコンソーシアム 技術委員会

最近の規格公開状況

- 2013年5月31日公開
 - ECHONET Lite Ver.1.10
 - ECHONET Lite Ver.1.1*向け認証仕様書
 - Appendix Release C

Ver.1.10での主な変更点

読みやすい／開発しやすい規格書へ

- 第2部 ECHONET Lite 通信ミドルウェア仕様
 - 会員の皆様の要望に基づき、TCP対応を追加
 - 機器の識別を可能とするために、ノードプロファイルクラスの「識別番号」プロパティの定義をメーカー規定形式のみに変更
 - 章構成などを全般的に見直し
 - サービス内容に関する詳細シーケンスの章を作成し、ESVIに記載していた内容の一部を移動
- 第5部 システム設計
 - 応答の扱いに関する指針、一斉同報に関する指針、ノードの検出・発見手順など、TCPIに関する指針、などを追加し、設計指針を強化
- Ver.1.01とVer.1.10との差分のまとめシート作成
 - エコーネットコンソーシアムのホームページにて公開中

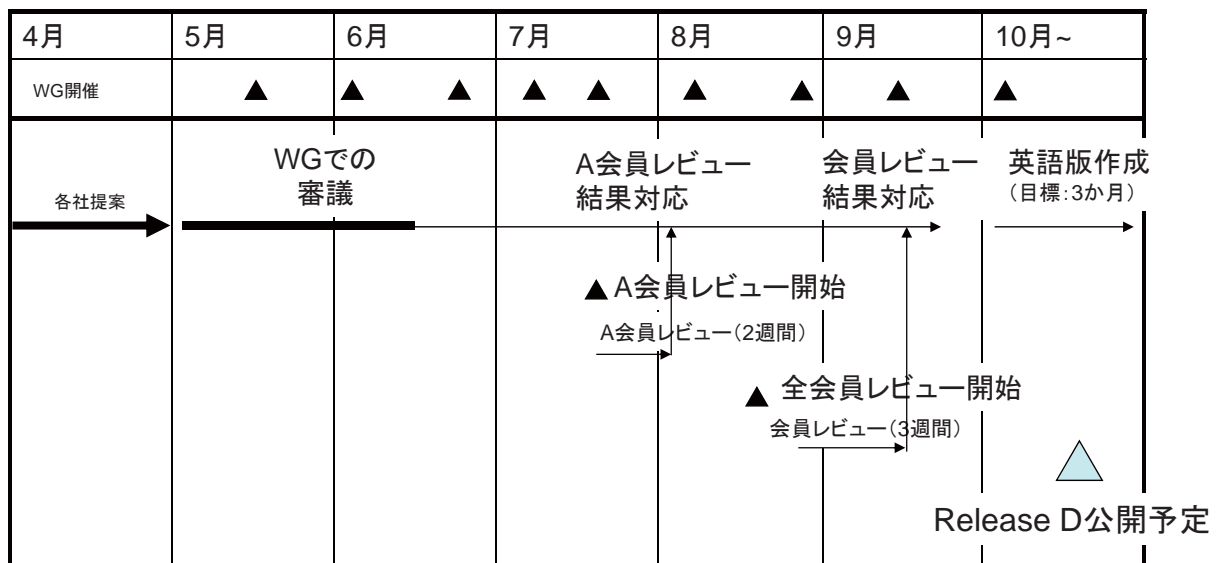
Appendix Release C

重点8機器の見直し、遠隔制御対応

- JSCA HEMS TFにて定義している重点8機器を中心に見直しを実施
 - Release Cでの見直した重点8機器は、「燃料電池クラス」、「住宅用太陽光発電クラス」、「蓄電池クラス」、「電気温水器クラス」、「一般照明クラス」
 - 特に燃料電池クラスは、燃料電池クラスの給湯に関するプロパティを削除し、燃料電池機能に特化した機器オブジェクトに変更
- 遠隔制御対応
 - 以下の要件を満たす方式を検討
 - ECHONET Liteプロトコル規定の範囲内で定義可能
 - 遠隔制御対応可否がネットワーク経由で確認可能
 - プロパティに新しく遠隔制御機能を追加
 - 位置情報(EPC=0x93)プロパティを設置場所(EPC=0x81)プロパティの一部に定義を変更
 - 公衆回線経由での制御を判断するためのプロパティ(EPC=0x93)を新しく定義

- ECHONET Lite規格
 - 相互接続性向上に向けた活動を実施
 - プラグフェストを通じて、特に第5部「システム設計指針」を強化していく方針
- Appendix Release D
 - 重点8機器のうち「電気温水器クラス」、「電気自動車充放電システムクラス」、「スマート電力量メータクラス」について検討中
 - 電気温水器: 風呂関連、手動沸き上げ関連のプロパティを追加検討
 - 電気自動車充放電システム: 現行の充放電システムと電気自動車間の機能を再整理し、必須プロパティに関する見直しを検討
 - スマート電力量メータ: データサイズが小さい履歴データプロパティの追加を検討
 - 新しい取組みとして、開口部関連(電動シャッター、電動ガレージ、電動天窓、オーニング)について、新規機器オブジェクト追加/既存機器オブジェクトへの変更を検討中

2013年10月Release D発行目指して仕様検討中



※プラグフェストのフィードバック対応は随時実施

ありがとうございました